



特定非営利活動法人

## 医学統計研究会の現況

平成 19 年度 会報

Vol.3

特定非営利活動法人 医学統計研究会も 2008 年 4 月 1 日から、平成 20 年度の活動を開始いたしております。恒例により、平成 19 年度(2007 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日)の活動実績を以下に総括してご報告いたします。

1. 平成 19 年度の活動と事業の特徴は次のように要約できます。

(1) 新規事業

- ①特定主題シンポジウム 2007 「臨床評価における適応型計画の適用可能性とその留意点」を開催し、最近の医薬品の臨床評価の効率化の方法と問題点を明瞭にした。
- ②特定主題セミナー2007 「癌治療の評価における生存時間解析の方法」を開催し、生存時間解析の過程とその方法、および周辺の問題点を明らかにし、適用上の留意点について啓発した。
- ③医学統計学に関わる諸種の主題の研究・開発および地方における啓発活動の一環として、夏季セミナー（山梨）と秋季セミナー（鹿児島）を開催した

(2) 継続事業

- ①特定主題セミナー2007 「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」も 3 回目の開催を数え、本研究会の「目玉」の事業ともいえる形式で定着し、従来どおり時宜に合った形での話題を提供した。
- ②定例シンポジウム 2007 「医療で必要とされる統計的基礎知識」は 7 回目を数え、医学・医療での最近の話題（「メタボリック・シンドローム」の診断基準の統計的根拠など）を俎上にのせ、議論した。
- ③特定主題シンポジウム 2007 「患者像に基づく臨床評価の過程」も 2 回目の開催となり、樹木構造接近法に基づく患者像の特徴抽出など先進的話題を提供した。
- ④特定主題シンポジウム 2007 「薬物動態の統計数理」も 2 回目の開催となり、最近の PK / PD の役割から第 1 相臨床評価の国際的な拡がりまでを含めた話題を提供した。
- ⑤2006 年度事業で開催した特定主題シンポジウム「計算環境 R とその周辺」を参加者からの要望に応じて、定員を限定して演習などをとり入れた実践形式の特定主題セミナーとして改めて開催した。計算環境 R の発展を考慮に入れた時宜に合った主題を提供した。

(3) 共同開発事業

e-learning 型医学統計学習システム（PSL：Productive Self-Learning System of Biostatistics）『医学統計学習塾』（基礎課程 第 2 部）を共同開発し、完成させた。



各種シンポジウム・セミナーのひとこま(詳細は Newsletter 参照)

(4) 技術指導事業

- ①「メタボリック・シンドローム」の診断基準の評価と絡め、大分県成人病検診センターと共同で「健康指導」の根拠を評価した。
- ②「姿勢と健康」に関するシステム構築での共同研究・開発においてその技術(特許)を譲渡した。
- ③賛助会員の製薬会社から要請された臨床試験に関わる二三の実際業務について技術相談・指導を行った。

(5) 連携事業

- ①日本計算機統計学会「スタディ・グループ」と一緒にシンポジウム「実験研究における制約と調整」を開催し、共同で二三の方法論の研究・開発を行った。
- ②大分統計談話会の第36大会と第37回大会の開催を支援した。

(6) 平成19年度の事業は以下のとおりである[敬称略]。

- スプリング・フォーラム 2007 : 2007.4.2 (大阪).  
平成19年度理事会. 平成18年度通常総会. 懇親会 : 参加者 45名.
- サマー・フォーラム 2007 : 2007.7.28 (大阪).  
スポーツ・懇談会 : 参加者 30名.
- ウィンター・フォーラム 2007 : 2007.12.1 (大阪).  
研究発表会. 懇親会. 参加者 52名.
- 特定主題セミナー2007「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」 : 2007.4.19/ 2007.5.22/ 2007.6.7/ 2007.6.21 (東京).  
組織者 : 前田 博・後藤昌司.  
講師 : 前田 博・藤本峰子・薄井 勲.  
参加者 : 27名(有料参加者 22名, 支援参加者 5名).
- 特定主題シンポジウム 2007「臨床評価における適応型計画の適用可能性とその留意点」 :

2007.6.23 (東京).

組織者：栗林和彦・後藤昌司. 開会挨拶：後藤昌司. 閉会挨拶：後藤昌司.

講師：柴田大朗・大門貴志・伊藤雅憲・栗林和彦. 座長：佐藤俊久・柴田大朗.

参加者：42名(有料参加者27名, 支援参加者15名).

- 特定主題セミナー2007「癌治療の評価における生存時間解析の方法」2007.9.15 (大阪).

組織者：後藤昌司・松原義弘. 開会挨拶：松原義弘. 閉会挨拶：後藤昌司.

講師：坂本 亘・松原義弘・後藤昌司・下川敏雄・杉本知之.

参加者：19名(有料参加者11名, 支援参加者7名).

- 定例シンポジウム2007「医療で必要とされる統計的基礎知識」2007.10.27 (大阪).

組織者：後藤昌司・白旗慎吾. 開会挨拶：白旗慎吾. 閉会挨拶：後藤昌司.

講師：坂本 亘・藤澤正樹・河合統介・森 裕一. 座長：藤崎恒晏・古賀 正.

参加者：29名(有料参加者19名, 支援参加者10名).

- 特定主題シンポジウム2007「患者像に基づく臨床評価の過程」2007.11.10 (東京).

組織者：柴田義貞・後藤昌司. 開会挨拶：魚井 徹. 閉会挨拶：後藤昌司.

講師：下川敏雄・後藤昌司・杉本知之・佐藤俊之・松原義弘. 座長：河合統介・猪俣智一.

参加者：28名(有料参加者18名, 支援参加者10名).

- 特定主題セミナー2007「計算機環境 R とその周辺」2007.12.22 (大阪).

組織者：越智義道・後藤昌司. 開会挨拶：後藤昌司. 閉会挨拶：白旗慎吾.

講師：山本義郎・坂本 亘・下川敏雄・越智義道.

参加者：19名(有料参加者9名, 支援参加者11名).

- 特定主題シンポジウム2007「薬物動態の統計数理」2008.2.2 (大阪).

組織者：魚井 徹・後藤昌司. 開会挨拶：魚井 徹. 閉会挨拶：後藤昌司.

講師：熊谷雄治・塩見真理・朝野芳郎・大門貴志. 座長：今井康彦・藤澤正樹.

参加者：36名(有料参加者22名, 支援参加者14名).

- 定例会 (大阪) 6回：2007.5.26/ 2007.6.30/ 2007.7.13/ 2007.9.22/ 2008.1.26/ 2008.3.15.

- 定例研究会 (東京) 12回：2007.4.19/ 2007.5.17/ 2007.6.21/ 2007.7.13/ 2007.8.21/ 2007.9.22/  
2007.10.24/ 2007.11.22/ 2007.12.10/ 2008.1.23/ 2008.2.20/ 2008.3.19.

- e-learning『医学統計学習塾』の共同開発・技術指導：2007.4.1～2008.3.31.

(場所) 大阪：豊中市上新田2丁目22-10-A411 医学統計研究会・オフィス.

大分：大分市大手町2丁目3-34-105 (株)ソリューションラボ・オフィス.

(付記)「医学統計1年生」(基礎課程第2部)の完成.

- 夏季セミナー2007：2007.7.13/2007.7.14.

(場所) 勝沼ぶどうの丘.

(参加者) 16名.

(付記) 定例研究会(東京)T2007-7-13および、定例会(大阪)O2007-7-13と共催.

- 秋季セミナー2007：2007.9.22/2007.9.23.

(場所) かがしま県民交流センター.

(参加者) 26名.

(付記) 定例研究会(東京)T2007-9-22および、定例会(大阪)O2007-9-22と共催.

- (7) 本研究会の人たちと一緒に以下の研究論文・作品を著し、医学統計学を必要とする人たちへ提

供した.

- 杉本知之・下川敏雄・後藤昌司. 樹木構造接近法と最近の発展. 計算機統計学, 18(2), 123-164, 2005.
- 大門貴志・後藤昌司: Bayes流中間モニタリングに対する予測点検接近法. 応用統計学, 36(2&3), 119-138, 2007.
- 元垣内広毅・杉本知之・後藤昌司. MARSにおける縮小推定量とその効能. 応用統計学, 36(2&3), 99-118, 2007.
- 衛藤俊寿・下川敏雄・後藤昌司: 生存時間研究における多分岐型樹木構造接近法. 行動計量学, 34(1), 1-20, 2007.
- 後藤昌司・山邊太陽・丸尾和司・河合統介: 「応答比」とそれに基づく推測. 臨床精神薬理, 10(4). 115-124, 2007.
- 後藤昌司・大門貴志: 薬物動態の統計数理. MPC, 2008.
- Daimon, T. & Goto, M. : Curvature-adjusted optimal design of sampling times for the inference in pharmacokinetic compartment models. *Statistics in Medicine*, 20, 2799-2819, 2007.
- Daimon, T., Yamada, H. & Goto, M. : Assessing nonlinearity in compartment models via the relative curvature measure. *Journal of Pharmacokinetics and Pharmacodynamics*, 34(2), 207-227, 2007.
- Daimon, T. & Goto, M. : The mean squared error of optimum design criterion for parameter estimation in nonlinear regression models. *Communication in Statistics-Theory and Methods*, 37(4), 508-519, 2008.
- Sakamoto, W. : MARS: selecting bases functions and knots with an empirical Bayes method. *Computational Statistics*, 22, 583-597, 2007.
- Kawai, N., Chuang-Stein, C., Komiyama, O. & Ii, Y. : An approach to rationalize partitioning sample size into individual regions in a multiregional trial. *Drug Information Journal*, 42, 139-147, 2008.

日常的な活動として、2007年度も毎月、ニューズレター(Newsletter)を発行しました[2008年3月31日現在で通刊48号になります].

2. 平成 19 年度の収支計算書の概要を下表に記しています. 詳細は大阪府知事宛へ提出する資料(「閲覧」可)に記載しています.

・収入の部	合計	9,802,589	・支出の部	合計	5,936,998	単位(円)
内訳: 入会金・会費収入		3,560,000	内訳: 事業費		3,889,343	
事業収入		2,028,000	管理費		2,047,655	
利息収入		12,396	その他		0	
技術指導料		1,030,240	当年度支出合計		<u>5,936,998</u>	
雑収入		210,000				
当年度収入合計		<u>6,840,636</u>	・当年度収支差額		<u>903,638</u>	
前年度繰越金額(設立時資金有高)		<u>2,961,953</u>	・次年度繰越収支差額		<u>3,865,591</u>	

本年度の活動 および本資料の内容については正法地孝雄監事と前田 博監事の監査を受け、承認されました[また、ボランティアとして田端一喜公認会計士のご指導(監査)も受けました].

3. 平成20年度の事業も以下のように計画し、進行中です[敬称略].

4月

- 4月5日(土) 2008年度第1回理事会 (会場) 大阪大学 豊中キャンパス 待兼山会館  
スプリング・フォーラム2008 (会場) 大阪大学 豊中キャンパス
- 4月18日(金) 定例研究会[東京]2008-4-18 (会場) 千代田プラットフォーム
- 4月18日(金) 特定主題セミナー2008  
「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」第1回  
(会場) 千代田プラットフォーム

5月

- 5月16日(金) 特定主題セミナー2008  
「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」第2回  
(会場) 千代田プラットフォーム
- \* 5月22-23日 日本計算機統計学会・第22回大会 (会場) 秋田市文化会館
- 5月31日(土) 2008年度第1回通常総会  
定例会[大阪]2008-5-31 (会場) 大阪大学 豊中キャンパス 基礎工J棟6F

6月

- 6月5日(木) 特定主題セミナー2008  
「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」第3回  
(会場) 千代田プラットフォーム
- 6月20日(金) 定例研究会[東京]2008-6-20 (会場) 千代田プラットフォーム
- 6月20日(金) 特定主題セミナー2008  
「臨床評価におけるデータ・マネジメントの過程」第4回  
(会場) 千代田プラットフォーム
- 6月21日(土) 特定主題シンポジウム2008「医療・健康の計量分析」  
(日本行動計量学会と共催) (会場) 吉備国際大学「岡山」駅前キャンパス

7月

- 7月16日(水) 定例研究会[東京]2008-7-16 (会場) アスビオファーマ(株)会議室
- 7月26日(土) サマー・フォーラム2008/2008年度第2回理事会  
(会場) 大阪大学 豊中キャンパス 待兼山会館

8月

- 8月[予定] 夏季セミナー2008 定例研究会[東京]2008-8と共催 (会場) あすか製薬(株)会議室

9月

- 9月13日(土) 秋季セミナー[定例会[大阪]・定例研究会[東京]と共催] (会場) 山梨
- 9月20日(土) 特定主題シンポジウム2008「癌治療の評価における生存時間解析の方法」  
(会場) エーザイ(株)会議室

10月

- 10月16-17日 大分統計談話会・第38回大会 (会場) 富士通大分システムラボラトリ  
10月24日(金) 定例研究会[東京]2008-10-24 (会場) 千代田プラットフォーム[予定]  
10月25日(土) 定例シンポジウム2008「医療で必要とされる統計的基礎知識」  
(会場) 東京

11月

- 11月6-7日 日本計算機統計学会・第22回シンポジウム (会場) 臨床研究情報センター  
11月15日(土) 定例会[大阪]2008-11-15 (会場) キングスクエア・ランドサット会議室  
11月28日(金) 定例研究会[東京]2008-11-28 (会場) 千代田プラットフォーム[予定]  
11月29日(土) 特定主題シンポジウム2008  
「製造販売後における臨床評価の過程」 (会場) 第一三共株式会社  
品川研究開発センター

12月

- 12月13日(土) 2008年度第2回通常総会 ウィンター・フォーラム2008  
(会場) 大阪大学 豊中キャンパス  $\Sigma$ ホール  
12月17日(水) 定例研究会[東京]2008-12-17 (会場) 千代田プラットフォーム[予定]

1月

- 1月21日(水) 定例研究会[東京]2008-1-21 (会場) 未定  
1月24日(土) 定例会[大阪]2008-1-24 (会場) 未定

2月

- 2月7日(土) 特定主題シンポジウム2008「臨床評価過程の最適化」  
\*2月12-13日 大分統計談話会・第39回大会 (会場) 富士通大分システムラボラトリ  
2月18日(水) 定例研究会[東京]2009-2-18

3月

- 3月14日(土) 2008年度第3回理事会 定例会[大阪]2009-3-14  
(会場) 大阪大学豊中キャンパス待兼山会館  
3月18日(水) 定例研究会[東京]2009-3-19 (会場) 未定

(※)会員の方々には、ご住所・アドレスなどの変更の場合にはできるだけ速やかに事務局のほうにご連絡いただくと幸いです。